

3月14日一関市で認定証授与式を開催

【平成30年度「手づくり郷土賞」(国土交通大臣表彰)】

『水害常襲地からの脱却！川との戦いから川とのふれあいへ』

「手づくり郷土賞」は、地域づくりに取り組む活動団体等の優れた地域活動を表彰する制度で、昭和61年度の創設以降、平成30年度で33回目の開催となる国土交通大臣表彰です。今年度、東北管内からは一般部門で3件選定されています。

この度、岩手県一関市で北上川、砂鉄川、千厩川の3つの河川が合流する場所を拠点に活動をしている『水害常襲地からの脱却！川との戦いから川とのふれあいへ』の認定証授与式を開催しますので、お知らせいたします。

《認定証授与式の開催概要》

| | |
|--------|--|
| 応募件名 | 水害常襲地からの脱却！川との戦いから川とのふれあいへ |
| 応募団体 | ・ 特定非営利活動法人 北上川サポート協会 |
| 認定証授与式 | ・ 日時：平成31年3月14日(木) 11時00分～(30分程度) ・ 場所：北上川学習交流館 あいぽーと 学習スペース(別紙1参照) (一関市狐禅寺字石ノ瀬 155-81) ※認定証授与式詳細については別紙2参照 |
| その他 | 認定証授与式終了後、あいぽーと館内において認定団体による活動内容紹介を予定 |

○取材について

- ・ 当日の受付は30分前から行います。

○東北管内における平成30年度「手づくり郷土賞」選定案件

- ・ 月山志津温泉雪旅籠の灯り～雪は宝～ (山形県西川町)
- ・ 水害常襲地からの脱却！川との戦いから川とのふれあいへ (岩手県一関市)
- ・ 名勝・高田松原の再生をめざして (岩手県陸前高田市)

※なお、「月山志津温泉雪旅籠の灯り～雪は宝～」の認定証授与式は、2月22日に、「名勝・高田松原の再生をめざして」の認定授与式は、3月7日に開催済です。

〈発表記者會〉岩手県政記者クラブ・宮城県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会

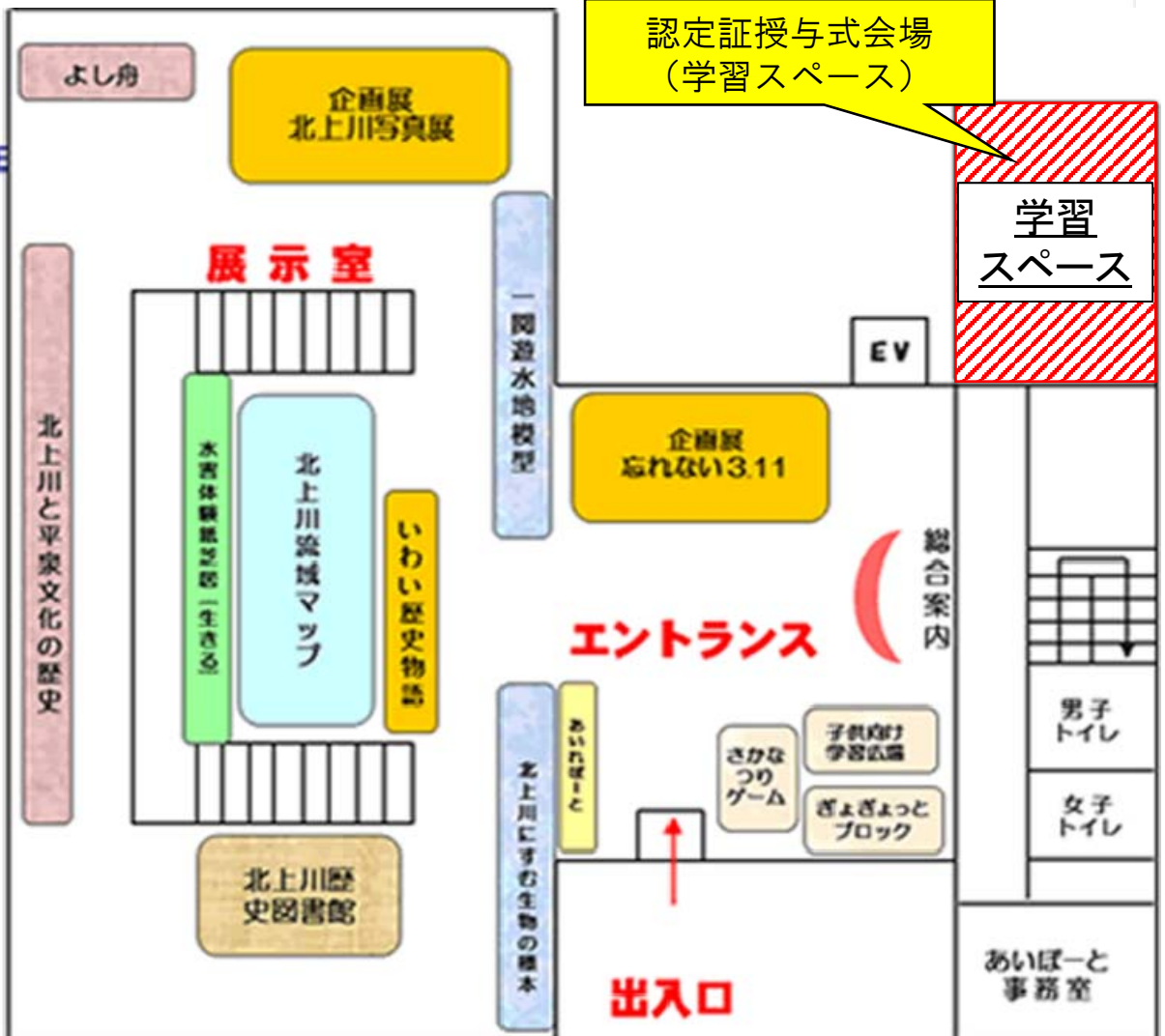
問い合わせ先

| | | |
|---------------|-------|--------------|
| 国土交通省 東北地方整備局 | 代表 | 022-225-2171 |
| 企画部 企画課 課長補佐 | 桐山 久夫 | (内線：3156) |



北上川学習交流館「あいぽーと」
〒029-0131 岩手県一関市狐禅寺字石ノ瀬155-81
TEL:0191(26)0077 FAX:0191(26)0078

H25. 2. 21現在



平成30年度 手づくり^{ふるさと}郷土賞

認定証授与式 次第（案）

日時 平成31年3月14日（木）11:00～11:30

会場 北上川学習交流館 あいぽーと 学習スペース

1. 開 式
＜プレゼン[特定非営利活動法人 北上川サポート協会]＞
 2. 主催者挨拶
[東北地方整備局 副局長 上坂 克巳]
 3. 認定証授与
[東北地方整備局 副局長 上坂 克巳]
 4. 受賞者挨拶
[特定非営利活動法人 北上川サポート協会 理事長 吉田達男]
 5. 祝辞
[一関市長 勝部 修]
 6. 閉 式
 7. 写真撮影
-
8. 活動内容紹介：11:30-12:00
[特定非営利活動法人 北上川サポート協会 事務局長 金野和則]

平成30年度 手づくり郷土賞 【一般部門】 受賞案件概要

案件名 水害常襲地からの脱却！川との戦いから川とのふれあいへ (岩手県・一関市)



▲子供達を対象とした川の流れ方、助け方の勉強会



▲北上川流域交流Eポート大会の様子

<活動内容>

当協会がある岩手県一関市川崎町は、北上川、砂鉄川、千厩川の3つの河川が合流する場所に位置し、古来から川の恩恵を受けるとともに水害の常襲地であった。川との共生を目指すため、地域住民と一緒に水生生物調査や環境保全活動、自然学習活動(カヌー体験等)を行っている。中でも北上川流域交流Eポート大会は日本一の規模で開催されており、多くの参加者が水辺に親しむ機会へと繋げている。また、地域の中学生がボランティアスタッフとして運営に参加し、地域の大人から仕事を学び、繋がりをつくっている。

<活動主体>

特定非営利活動法人北上川サポート協会

<対象となる社会資本>

一級河川 北上川水系北上川・砂鉄川

※管理者:国土交通省東北地方整備局
岩手河川国道事務所